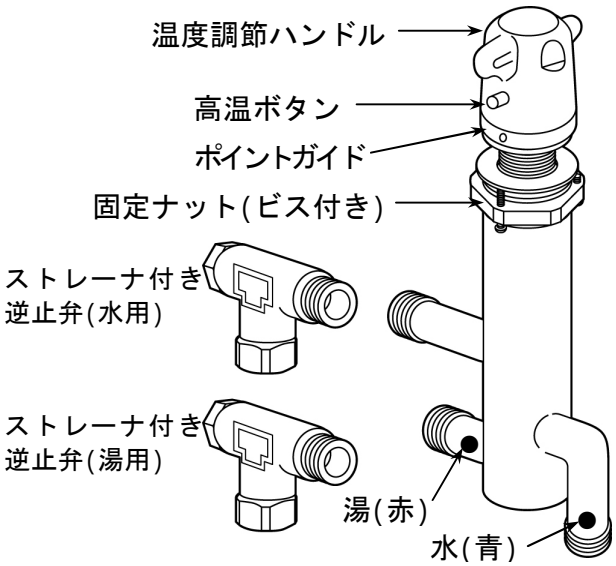
工事店様へのお願い --- 必ずユーザー様へお渡し下さい。
工事店様用の控えが必要な場合は、ユーザーサポート窓口へご請求下さい。

サーモミキシングバルブ[ＳＭＶ１] 施工・取扱説明書

もくじ

安全上のご注意(必ずお読み下さい) ----- Ｐ１
● 適切な使用条件 ---------- Ｐ１
*** 施工方法 ***
● 施工上のご注意 ---------- Ｐ２
● 取付手順 ---------- Ｐ２・３
*** 取扱方法 ***
● 使用上のご注意 ---------- Ｐ３
● 温度調節方法 ---------- Ｐ３
● 器具の温度調整方法 ---------- Ｐ４
● ストレーナーの掃除 ---------- Ｐ４
●「故障かな？」と思ったら ---------- Ｐ４
● 分解図 ---------- Ｐ５
● アフターサービスについて ---------- Ｐ６



安全上のご注意

1)**湯水を逆に配管しないでください。** 器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。	2)**給湯に蒸気を使用しないでください。** 器具が破損して、やけど漏水のおそれがあります。
3)**乗ったり強い衝撃を加えないでください。** 故障や事故の原因になります。	4)**高温のお湯をお使いの時には、吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。** やけどをするおそれがあります。
5)**自動水栓と組み合わせて使用する場合は、必ず 40℃以下でご使用下さい。** いきなり高温の湯を浴び、やけどをすることがあります。	6)**使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛りを４０℃以下に戻しておいてください。** 次に使用すると、いきなり高温の湯を浴びやけどをすることがあります。
7)**高温のお湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流して下さい。** 次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	8)**ハンドルの目盛りと混合水の温度が違っている時は直ちに器具の温度調整をしてください。** 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。 ※「●器具の温度調整方法」(4 ﾍﾟｰｼﾞ)をご参照ください。
9)**温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水して下さい。** 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	10)**温度調節ハンドルを急にまわすと、温度が急上昇するので、ハンドルはゆっくり回してください。** やけどをするおそれがあります。

適切な使用条件

(1) **貯湯式給湯器・中央給湯式の場合の必要な給水・給湯圧力**

- 給水・給湯圧力　０.０５MPa(0.5kgf/cm²)　～　０.５９MPa(6.0kgf/cm²)
  給水圧力が 0.29MPa(3.0kgf/cm²)以上は止水栓による流量の調節が必要です。
  0.59MPa(6.0kgf/cm²)を超える場合は減圧弁を使用して下さい。
- 給水圧力 ≧ 給湯圧力にしてください。
  なお、給湯圧力が 0.098MPa(1.0kgf/cm²)未満の場合は　給湯圧力＋0.147MPa(1.5kgf/cm²)
  0. 098MPa(1.0kgf/cm²)以上の場合は　給湯圧力＋0.196MPa(2.0kgf/cm²)以内にしてください。
- 給湯温度は使用温度より１０℃以上高くして下さい。

(2)**ガス瞬間式給湯器の場合の給湯器流入における最低必要圧力**

設定条件 ●水温：25℃ ●吐水温度：42℃ ●ガス瞬間式給湯器の調整ハンドル：高温 ●流量調整栓は全開

ガス瞬間式給湯器			
従来タイプ			比例制御タイプ
８号	１０号	１２号	１６号
Ｐ＋0.06(0.6)	Ｐ＋0.08(0.8)	Ｐ＋0.098(1.0)	Ｐ＋0.08(0.8)

Ｐは給湯器の最低作動水圧
単位：MPa(kgf/cm²)

- 給水圧力は流動時の水圧を示します。
- 給湯能力８・１０号では、冬季での快適な流量を得る事ができない場合があります。ご注意ください。

2009 年 6 月現在 C900210065/0906

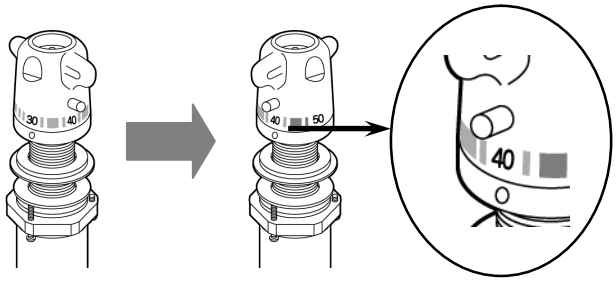
取り付け方

取付前のご注意

- 配管内の掃除 --- 取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。
- 給水・給湯配管の確認 --- 湯と水を逆に配管すると器具が破損し、やけどや漏水のおそれがあります。
- 飲用不可な井戸水は使用しないでください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。--- 器具が破損し、やけどや漏水のおそれがあります。
- ガス瞬間式給湯器からの配管は最短距離で施工し、保温材を巻いてください。
- 取付後の保守点検のために必ず点検口を設けてください。

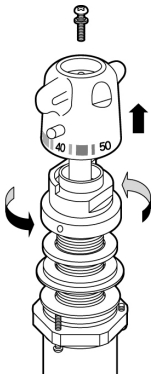
取付手順

１．ハンドルの目盛りを４０℃にあわせる。



２．ハンドルとポイントガイドを外す。

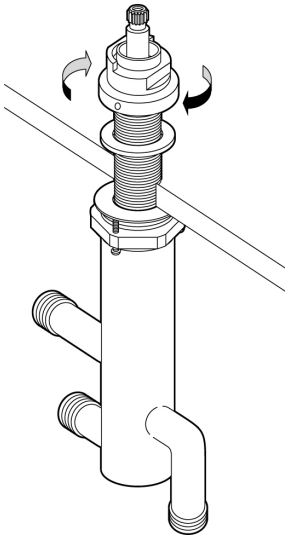
1) ハンドル上部のビスを外す。
2) ハンドルを上に抜く。（ハンドルを抜く際は、ハンドルを 回さないように注意して下さい。）
3) ポイントガイドを反時計方向に回して取り外します。(ポイントガイドの内側にはナットが止めネジによって固定されていますので固定したまま一緒に外します。)
4) 座金と台座パッキンも取り外します



３．洗面器やカウンタに混合栓を下から差し込み上からポイントガイドを固定する。

1) 混合栓本体を洗面器やカウンタの下から差し込みます。
2) 上から台座パッキン、座金の順に入れます。
3) ポイントガイドを時計方向に回しながら止まるまでねじ込みます。（この時点で混合栓全体が固定される事はありません。）

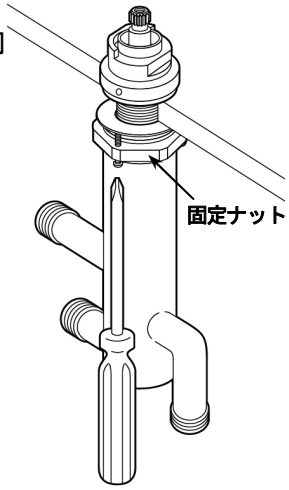
注）ポイントガイドが最後までしっかりねじ込まないと、ハンドルを付けた時に回らない事があります。

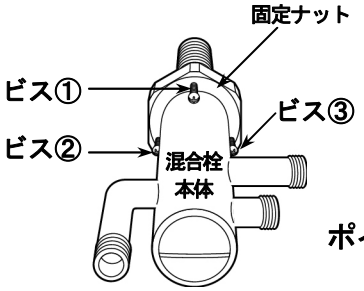


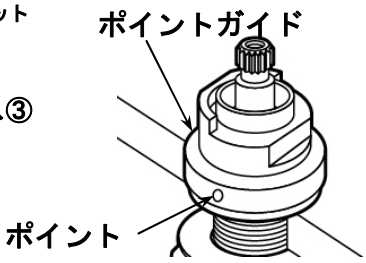
４．本体を固定する。

1) 固定ナットを手で時計方向に回し軽く締め付けます。
2) 固定ナットの着いている３本のビスをドライバーで均等に締め付け、本体をしっかりと固定します。

注）ポイントガイドの印が正面を向くように混合栓本体を固定してください。





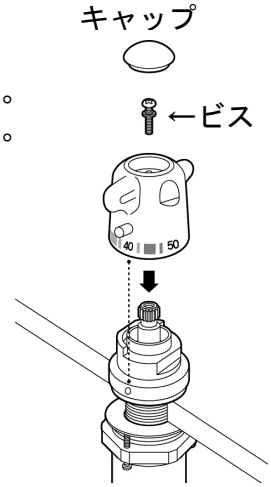


５．　ハンドルを固定します。

1) ハンドルの 40℃の目盛りがポイントガイドの印と合うようにハンドルを差し込みます。
2) ビスでハンドルを固定します。
3) ハンドルがスムーズに回ることを確認します。

※ハンドルがうまく回らない時はビスを少しゆるめる。それでもうまく回らない時はポイントガイドが最後までねじ込んでない可能性がありますので、最初からやり直して下さい。

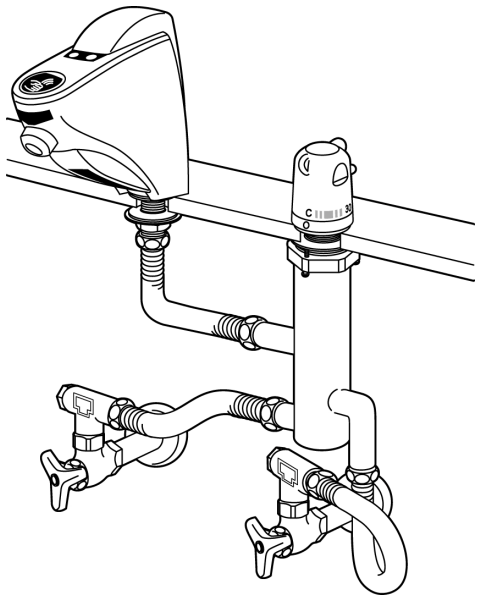
4) キャップをはめ込みます。



６．ストレーナ付き逆止弁を湯・水それぞれの止水栓に取付る。

７．水道用フレキ管等で吐水金具（自動水栓）と混合栓を
接続します。

８．水道用フレキ管等で湯・水それぞれの逆止弁と混合栓を
接続します。



*** 注　意 ***

・混合栓の接続場所（湯入り口・水入り口・混合水出口）を十分
確認し間違えの無いように接続して下さい。

・ストレーナ付き逆止弁は必ず設置して下さい。

◆ 右の図は弊社自動水栓「水すい Sui-Sui」と組み合わせた設置例です

施工完了後の点検

止水栓を徐々に開き、各接合部から水漏れがないことを確認します。
吐水温度とハンドルの目盛りが違っているときは、必ず吐水温度の
調整を行って下さい。　（参照：器具の温度調整方法[４ページ]）
※出荷時は４０℃の目盛りで４０℃±２℃に設定されておりますが、給湯・給水の条件によっては吐水
温度とハンドルの目盛りが違ってしまう場合もあります。

取扱方法

使用上のご注意

１．**高温のお湯をお使いの時には、吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。** やけどをするおそれがあります。
２．**自動水栓と組み合わせて使用する場合は、必ず 40℃以下でご使用下さい。** いきなり高温の湯を浴び、やけどをすることがあります。
３．**使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛りを４０℃以下に戻しておいてください。** 次に使用すると、いきなり高温の湯を浴びやけどをすることがあります。
４．**高温のお湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流して下さい。** 次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
５．**温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水して下さい。** 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
６．**温度調節ハンドルを急にまわすと、温度が急上昇するので、ハンドルはゆっくり回してください。** やけどをするおそれがあります。
７．**ハンドルの目盛りと混合水の温度が違っている時は直ちに器具の温度調整をしてください。** 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。※「器具の温度調整方法」(４ページ)をご参照ください。

温度調節方法

温度調節ハンドルを回すことによって温度を変えることができます。

温度調節

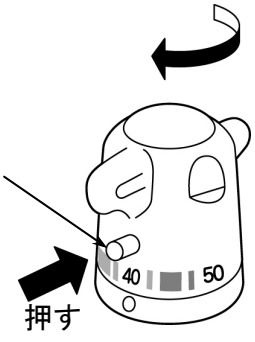
目盛りをポイントに合わせて
お好みの温度でご使用下さい。

***※温度の数字は目安として
ご使用下さい。***

高温の使用

40℃以上にしたい時は高温
ボタンを押しながら回して
ください。

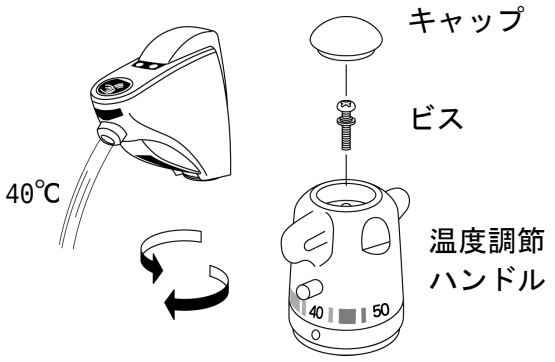
－注意－
熱湯を使用した後は、必ず温
度調節ハンドルを 40 以下に
戻しておいて下さい。



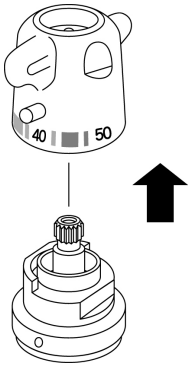
六六の温度調整方法

器具は出荷前に調整済みですが、取付現場の圧力・給湯温度などの条件によって目盛りと異なる温度の混合水が出ることがあります。このような場合は下記の調整を行ってください。

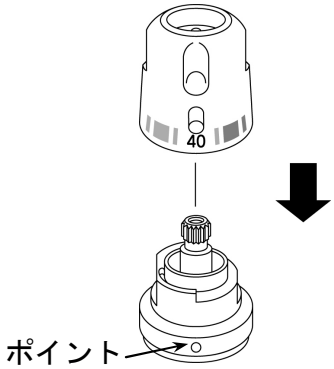
1.温度調節ハンドルのキャップとビスを外し目盛りと関係なく吐水温度が40℃になるように温度調節ハンドルをまわして下さい。



2.吐水温度が40℃になる位置で温度調節ハンドルを外します。



3.目盛りの４０の文字とポイントが合うように取り付けます。

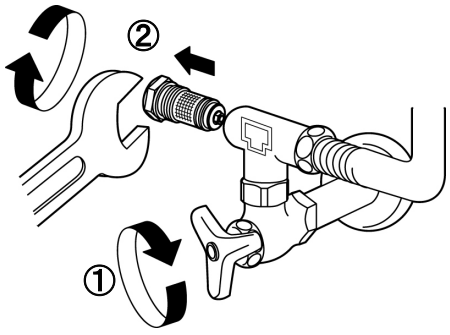


注意　● 温度調節ハンドルを取り付けるとき、軸をまわさないようにしてください。
● 目盛り・数字ともに目安としてご使用ください。

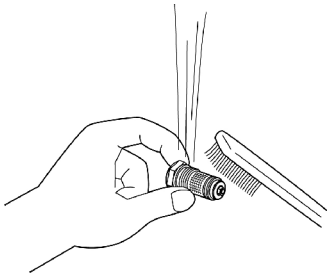
メンテナンスの方法

近所で水道工事があったり、長期間使用して湯水の出が悪くなったときに点検してください。

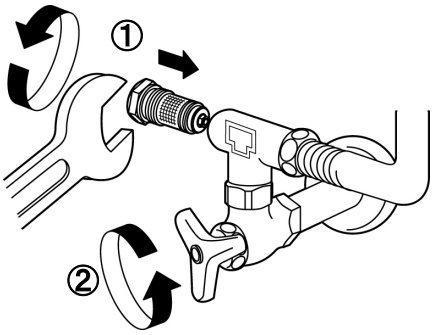
①止水栓を右に回して止水する。
②ストレーナ付き逆止弁をスパナ・モンキーレンチ等で回して取り外す。



ブラシなどで網の部分を掃除する。
網以外の部分にもゴミが着いていたら取り去る。



①ストレーナ付き逆止弁をスパナ・モンキーレンチ等で回して取り付ける。
②止水栓を左にまわして開く。



注意：湯側の止水栓は熱いのでやけどをしないように十分注意してください。

故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったら、以下の事項をご確認・点検してください。
不具合の原因が吐水金具や自動水栓の場合もありますので、吐水金具や自動水栓の取扱説明書も併せてご確認ください。

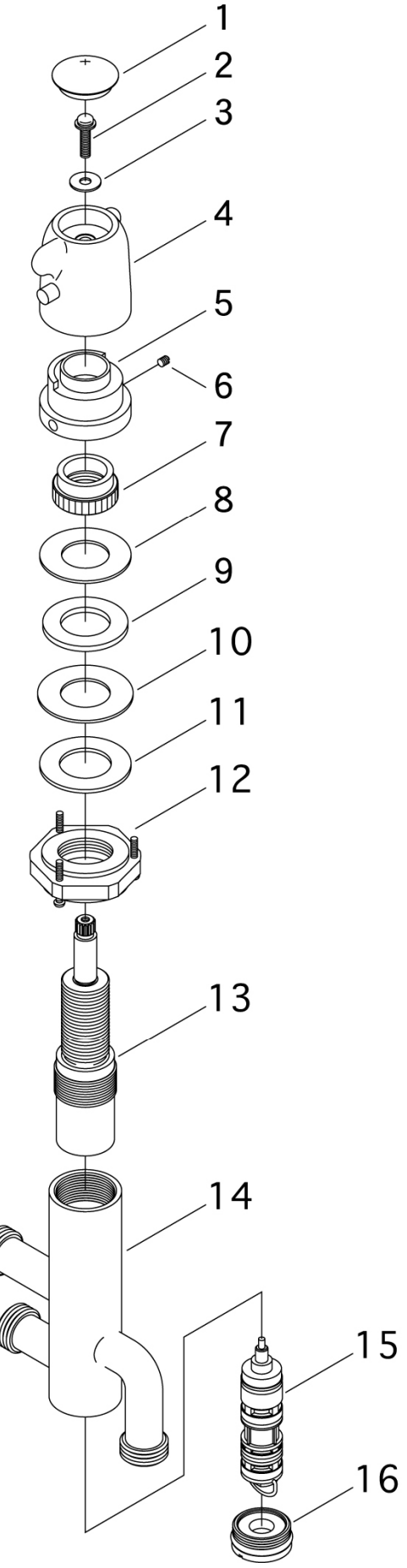
現　象	原　因	処置など
湯水が出ない 湯水の出が悪い	止水栓が閉まっている	止水栓を開く。
	ストレーナのゴミづまり	ストレーナを清掃する。
ハンドルをまわしても 高温しか出ない	止水栓が閉まっている	止水栓を開く。
	ストレーナのゴミづまり	ストレーナを清掃する。
	温度調整が適当でない	器具の温度調整をする。
ハンドルをまわしても 低温しか出ない	止水栓が閉まっている	止水栓を開く。
	ストレーナのゴミづまり	ストレーナを清掃する。
	温度調整が適当でない	器具の温度調整をする。
	器具にお湯がきていない	給湯器が着火しているか確認する。

以上の点検を実施されても不具合が改善されない場合は、設置された工事店様にご相談ください。工事店様にご相談できない場合は弊社ユーザーサポート窓口 0120-47-4647 へお問合せください。

分　解　図

部　品　名
1 ハンドルキャップ
2 ビス
3 ワッシャー
4 ハンドル
5 ポイントガイド
6 止めネジ
7 ナット
8 座金
9 台座パッキン
10 パッキン
11 座金
12 固定ナット(ビス付き)
13 温調上部
14 サーモボディー
15 サーモカートリッジ
16 サーモボディーキャップ
17 ストレーナ付き逆止弁
18 逆止弁ボディー
19 袋ナット
20 取付クランプ
21 パッキン

サーモミキシングバルブ
ＳＭＶ１



ストレーナ付き逆止弁
ＳＣＶＨ（湯用）
ＳＣＶＷ（水用）